

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	信濃大町まつり実行委員会
事業主体 (連絡先)	長野県大町市大町 2511-3 大町商工会議所内
事業区分	⑥産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	5,807,112円 (うち支援金: 3,007,000円)

事業内容

中心市街地は、都市機能の拡散やモータリゼーションの進展、居住人口の減少等により空洞化が進んでいる。昨年開催した「信濃大町まつり」ではディズニーパレード・ゆるキャラ大集合・キャラクターショー・大抽選会などを開催し、3万5千人の人出により、商店街もかつての賑わいを取り戻し賑わった。平成28年度は、昨年開催した経験を生かし、引き続きイベントを活用してさらに中心市街地に人を呼び込む、そして、一過性のものとせず、多くのお客様を商店街に呼び戻し「人と人のふれあいあふれる街づくり」を通して、中心市街地の再生に努めていく。



【 パレード風景 】

【目標・ねらい】

- ①大町市内に人を呼び込み、賑わいを取り戻す。
- ②一過性にせず、継続してお客さんを呼び込めるイベントとする
- ③各商店が積極的に参加し、お互い協力できる関係づくり。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 信濃大町まつりの全体の来場者は1万人。昨年度と比べ規模を縮小して行ったが、イベント数を増やし内容の濃いまつりとなった。
- 登録商店で買い物をしたお客さんが、抽選会に参加でき、サイクロン掃除機など豪華景品を用意した。多くのお客さんが押し寄せ大盛況であった。また、抽選会効果による登録商店の売上増額にも貢献できた。
- 信濃大町まつりによる相乗効果として、市内商店街での買い物や、飲食なども楽しんでいただけた。

※自己評価 【 A 】

【理由】
多数のイベントを開催し、来客者を飽きさせることなく実施でき、各会場に多くのお客さんが訪れ盛況であった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今回で2度目となった「信濃大町まつり」に多くの人が来場してくれた。実行委員会・スタッフ・ボランティアや各商店、商店街が協力し合い、おまつりに来ていただいたお客さんを楽しませることができた。この信濃大町まつりを一過性なものとしないうえ、日頃から集客に努め、次回に繋がられるよう接客に努めていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある